

第2次八代市総合計画第2期基本計画を策定

本市では、目指す将来像「しあわせあふれる ひと・もの 交流拠点都市 “やつしろ”」の実現に向け、平成30年度から令和7年度までの8年間のまちづくりの指針「第2次八代市総合計画」に沿ってさまざまな施策を進めています。

第1期基本計画（平成30～令和3年度）が令和4年3月末で終了するとともに、新型コロナウイルス感染症への対応や、坂本町の創造的復興など、本市が抱えるさまざまな課題への着実な対応と、SDGsやデジタル化の推進といった新たな取り組みにも積極的にチャレンジしていくため、今回「第2期基本計画（令和4～7年度）」を策定しました。この計画は、総合計画策定審議会での審議や、アンケートなどによりいただいた市民のみなさんの声を反映したものとなっています。

第1期に引き続き、将来像の実現に向けた今後4年間のまちづくりの指針として、誰もが「暮らしたい」「住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりを推進していきます。

将来イメージ

基本構想

(平成30～令和7年度)

第2次八代市総合計画 基本構想（8年間）

目指す将来像：しあわせあふれる ひと・もの
交流拠点都市 “やつしろ”

目標人口：120,000人（令和7年度）

- 基本目標：①誰もがいきいきと暮らせるまち
②郷土を担い学びあう人を育むまち
③安全・安心・快適に暮らせるまち
④地域資源を活かし発展するまち
⑤人と自然が調和するまち

具体的な計画

基本計画

(第1期：平成30～令和3年度)

(第2期：令和4～7年度)

今回策定部分

第2期基本計画（4年間）

基本構想に掲げる将来像などの実現に向け、47の施策を設定しました。

このうち、特に重点的に取り組む施策などを**重点戦略**として35の取り組みにまとめ、各取り組みを強力に推進していきます。

重点戦略とは

基本計画の中でも特に重点的に取り組む施策などをまとめたものです。市長の基本政策や、市民アンケートの結果などに基づき、市の施策として優先度の高いものを選定しています。

重点戦略

第2期基本計画では次の項目に力を入れて取り組みます

- ① 災害に強い豊かな「まち」の実現
- ② 次代を担う子どもの育成と安心な暮らしの創生
- ③ 稼げる農林水産業の実現
- ④ 地域の魅力とにぎわいの創出
- ⑤ 持続可能な選ばれるまち“スマートシティやつしろ”の推進

プラス1 新型コロナウイルス感染症への対応



※詳しい内容は市ホームページで確認ください